

くにたち 公民館だより



発行
 国立市公民館
 〒186-0004
 国立市中1-15-1
 ☎ 042-572-5141
 FAX042-573-0480
 休館日：毎週月曜日

介護短歌

〈講座報告〉

はじめませんか

◆介護短歌とは

介護にかかわる人が日常の中で感じる思いを短歌に込めて表現する…。この作業の中で日々の生活を客観的に見つめたり、自分の気持ちを整理したりする大切な時間を持つことができます。

公民館では昨年度から介護短歌の講座を実施しています。講座では作品を作り、それを他の人に発表し体験や思いを共有します。地域の中にある身近な人の思いに少しでも寄り添い、思いやりの輪が広がればと思います。

◆やまやまな立場から

講座には介護している方、されている方、介護士の方などさまざまな立場の方が参加されました。作品は、デイサービスでのやりとり、老夫婦の会話、娘の闘病と孫の面倒をみる日々、家族の思いやりなど、それぞれの思いで作られています。

講師の小谷あゆみさんの明るい雰囲気での進行の中、涙と笑いが混ざりながらの講座でした。

今年度も講座を実施します。作品の募集も行っていますので、公民館へ足を運ぶのが難しい方もぜひご連絡ください。



参加者の作品

我が妻に口の動きでありがとう
 辛苦忘れる声なき声に

綺麗だよ愛しているとなぜ言えぬ
 何時まで生きる訳もないのに

かき氷「ブルーハワイ」の海の色
 空にこ友在り介護所の窓

咲き初むる桜の中をホスピスへ
 迎へてくるるヨハネの両手

別れる日わかればもっと親孝行
 してあげたかったもっとたくさん

参加者の声

◇講座の感想

- ・ 父母の介護、亡くなる前後の慌ただしさを思い出して書き残す良い機会を得た。病人の気持ちを理解する愛情を持つ努力の貴重さを改めて実感した。
- ・ メモ日記を整理する良い機会となった。皆さんの体験を知ることができ、良い学びとなった。

◇ロビーでの作品展を見た方の感想

- ・ 思わず泣けてきました。
- ・ 介護四年、老々介護の疲れで倒れた。何もできず生かされている夫に痛みを取ることもできない辛さ…介護うつ。介護短歌で共有できる思い、時間があればお仲間に入りたい。

*昨年度の講座は7月24日、10月2日(いずれも日曜日)に、作品展は11月25日(金)〜12月2日(金)に行いました。

7月から講座がはじまります ぜひご参加ください!

- ① 7月26日(木)「介護短歌ってどんなもの?」
 - ② 9月23日(日)「作った作品の発表会」
 いずれも屋2時〜4時
- 講師 小谷 あゆみ (フリーアナウンサー、NHK「福祉ネットワーク 介護百人一首」司会)
- ところ 公民館 3階集会室
- 対象 介護する」「介護される」等介護体験のある方
- 定員 30名(先着順)
- 申込先 7月10日(火)朝9時〜 電話可
 公民館 ☎ (572) 5141

- 講座に参加できない方、作品提出のみも受け付けます。
 締切：9月14日(金)まで。
- * 介護で忙しい最中の方にもぜひお声かけください。

親子で遊ぼう・考えよう〈第2回〉
プラネタリウムで
星と太陽を見よう!

デジタルプラネタリウムで見た
 夜空の星座



今回はプラネタリウムを使って、夜空の星々だけでなく、日食など日中の太陽周辺の様子も見てみたいと思います。前半は5月の金環日食の報告や、6月の金星の太陽面通過の解説などと、新しく設置されたデジタルプラネタリウムの紹介をしていただきます。

そして後半は桐朋中学・高等学校の地学部員のみなさんに、プラネタリウムを操作しながら四季の星座のお話をさせていただきます。どうぞご参加ください!

お 話 上原 隼 (桐朋中学・高等学校教諭)、
 桐朋中学・高等学校地学部の皆さん

と き 7月28日(土)朝10時半～11時半ごろ
 と ころ 桐朋中学・高等学校 プラネタリウム(3階)
 ※受付場所は申込者へ別途ご連絡します。

対 象 子どもと保護者 定員 30組(先着順)
 申 込 先 7月10日(火)朝9時～
 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

生ごみ分解BOXをつくろう!

「バクテリア de キエーロ」葉山町の取り組み

家庭で出る生ごみを自分で分解してみませんか?
 神奈川県葉山町が成功した「バクテリア de キエーロ」は、野菜くずだけでなく腐らしてしまった食材や使用後の食用油も上手に分解します。生ごみを土に混ぜるといった簡単な手法ですが、比較的ににおいや虫が少ない優れたものです。今回の講座ではその「バクテリア de キエーロ」を製作します。家に持ち帰って活用してください。土は野菜作りやお庭の手入れなどへ利用できます。また同時に葉山町の取り組みについてもお聞きします。
 生ごみを循環させる生活を考え、地域で一緒にごみ減量に取り組んでいきましょう。

〈第1回〉説明会(実物見学・使い方など)
 7月21日(土) 昼1時半～3時半 公民館 3階講座室
 〈第2回〉BOX作り
 8月5日(日) 昼1時半～5時 公民館 地下ホール
 *第1回と第2回の間準備会を設ける予定です。

講 師 松本 信夫
 (「バクテリア de キエーロ」発案者)

定 員 キエーロ作り…市内在住の方。15世帯(先着順)
 ※説明会・BOX作りの見学のみも受け付けます。
 材料費 作る方のみ。庭用かベランダ用を選んでください。
 庭用 2500円、ベランダ用 3000円
 ※市の助成(5分の3)を受けた後の金額です。
 申 込 先 7月7日(土)朝9時～
 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

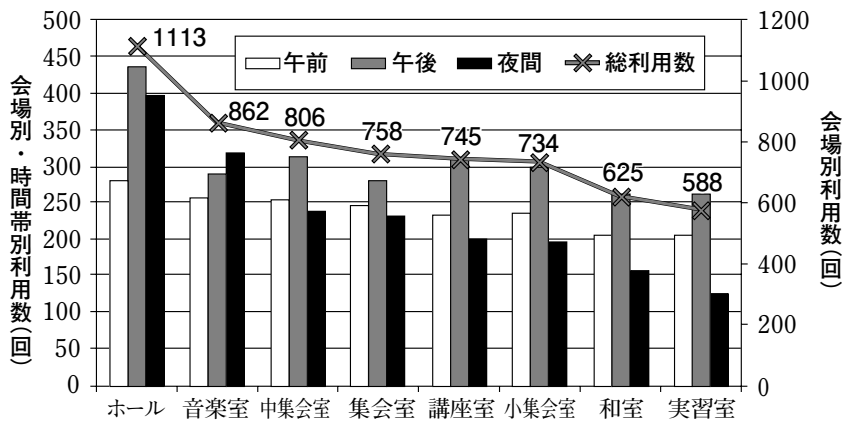
1日あたり231人が利用 (公民館会場利用統計から)

◎昨年度も多くの方が利用されました
 23年度の公民館の会場利用状況の統計では、1日あたりの平均利用者数は231人、年間7万1600人の方々の利用がありました。すべての会場の利用率平均は84%にのぼり、各団体・サークルでの会場の利用回数は22年度より増加し、6231回となりました。

◎最も利用が多い地下ホール
 会場の時間帯ごとの利用数を比較すると、各会場ともほぼ午後の時間帯の利用が多くなっています(棒グラフ)。その中でもホールの利用が最も多く、437回

でした。午後の時間帯だけで年間開館日数の309回を超えていることから、1日の午前・午後・夜間の各時間帯において、時間を細分化した利用が見受けられます。

会場ごとの総利用数を比較すると、ホールが1113回と最も多く、次いで音楽室、中集会室、集会室、講座室、小集会室、和室、実習室となっています(折れ線グラフ)。



◎多くの方々に利用していただくために
 公民館では、できるだけ多くの方々に有効にご利用いただけるように毎月会場利用調整会を行い、利用団体間での話し合い、譲り合いによる細やかな会場調整をしています。
 *ご利用についての詳細は、公民館までお問合せください。

〈平和講座〉

被爆体験を聞くつどい

お話 桂 茂之、平田 忠道

(国立原爆被爆者の会 くにたち桜会)

広島と長崎に原子爆弾が投下されてから67年がたちます。戦争や核兵器の悲惨さは、当時の写真や資料を読み解き想像を巡らせることができますが、被爆者の方から直接お話を聞くと、当時の人々が目にした光景やにおいまでもが伝わってくるようです。



長崎で被爆された桂さんと、広島で被爆された平田さんのお話を聞き、平和とは何か、さまざまな世代の方と考える機会にしたいと思います。

とき 8月11日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 1階市民交流ロビー

*ご自由においでください。

*8月6日(月)～19日(日)まで、市内9か所で『ふつうの日になったのか原爆の日』展が開催され、公民館1階の市民交流ロビーにも8作品が展示されます。こちらもおあわせてご覧ください。

市民による市民のためのメディア研究〈第5回〉

くにたち市民メディア構想会議

—市民がメディアの主役になるために—

講師 白石草はしむら (OurPlanet-TV代表、一橋大学等講師)

3月11日の震災以降、マスメディアの重要性和境界の両面が語られています。また現在は、インターネットのソーシャル・メディア(ユーチューブやツイッターなど)の普及によって、誰もが情報を発信することが可能になっています。この講座では、こうした新たなメディア状況の問題を考えながら、メディアとの向き合い方、「市民メディア」の可能性を探ってきました。

今回は、より具体的に地域におけるメディア実践のあり方を参加者の皆さんと議論したいと思います。ゲスト講師には、マスコミ報道のあり方に疑問を投げかけ、独自の取材・情報発信で注目を集めるインターネット放送局の先駆者、白石草さんをお招きします。国内外に広がる市民によるさまざまな情報発信の試みに学びながら、国立ならではの「市民メディア」を共に考えてみませんか。

〈白石さんの本〉『メディアをつくる』(岩波書店)、『ビデオカメラでいこう』(七つ森書館)ほか多数。

*今後も月1回程度のペースで開催していく予定です。

とき 7月29日(日) 昼2～4時半

ところ 公民館 地下ホール

定員 50名(先着順)

申込先 7月11日(水)朝9時～

公民館☎(572) 5141



〈図書室のつどい〉

人間らしい生活とは何か?

—暇と退屈の倫理学—

お話 國分 功一郎(高崎経済大学・哲学)

400ページを越す著書『暇と退屈の倫理学』を貫く著者の関心は、「人間らしい生活とは何か?」です。パスカルを皮切りに、文化人類学、考古学、経済学、消費社会論、動物行動学、そして「退屈論の最高峰」と著者が考えるハイデッガーの理論を渉猟し、答えに接近します。

よくある抽象的な問いと難解な論理に敬遠されがちな哲学書のイメージを覆す平易な文体、熱く勢いある思考が、ポジティブで自由な可能性を拓きます。「自分らしく、自分だけの生き方のルールを見つけること」。この問いに哲学的な根拠をもって答えを導く著者にお話をうかがいます。〈國分さんの著書〉『暇と退屈の倫理学』(朝日出版社)、『スピノザの方法』(みすず書房)ほか

とき 7月28日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室

*ご自由においでください。

〈くにたちブッククラブ さまよえる心と言葉2〉

金井美恵子『タマヤ』

(河出文庫)

講師 山岸 郁子(日本大学・日本近代文学)

とき 7月12日(木) 夜7時半～9時半

ところ 公民館 3階講座室

申込先 公民館☎(572) 5141

*今回は9月13日(木)角田光代『八日目の蟬』(中公文庫)です。

男性の料理教室

= 酒のおつまみ =

ささっとできて、作るのも食べるのも楽しい和洋中のおつまみを数種作りましょう。盛り付けにも気を配ります。最後はお茶漬けを一品。どうぞご参加ください。

講師 北川 みどり(管理栄養士)

とき 7月28日(土) 夕4時～7時

ところ 福祉会館 料理講習室 定員 20名(先着順)

費用 一人800円(予定額)

※7月26日(木)までに公民館へお支払いください。お支払いのない場合はキャンセル扱いになります。受付時間:朝9時～夕5時(月曜日以外) 食材購入後のキャンセルは実費を負担していただきます。精算は教室の当日に行います。

持ち物 エプロン、頭巾(タオルでも可)、筆記用具、ポリ袋(ゴミ持ち帰り用)

申込先 7月11日(水)朝9時～ 公民館☎(572) 5141

※会場では飲酒できません。

くにたち地域活動入門

私たちの暮らしている国立で、あなたの経験やチカラを活かしてみませんか。

国立には地域活動が活発に行われてきた歴史があり、現在も多くの方がそれぞれに合った活動をされています。

この講座は、「地域活動」とは何なのかを知ることから始めます。そして、参加者の皆さんと意見交換をしながら、国立の課題を見つけ、それに対して私たちは各々どのようなかかわれるのかを考えていきます。

第1回はくにたち富士見台人間環境キーステーション(通称KF)の立ち上げに携わった林さん、第2回は市内でさまざまな活動をされている菱沼さんにお話をうかがいます。

*この講座は9月以降も継続していく予定です。

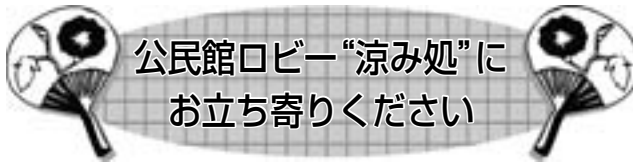
回	日時	テーマ	講師
1	7月24日(火) 昼2時～4時	「地域活動とは？」	ひろき 林 大樹 (一橋大学)
2	8月7日(火) 昼2時～4時	「くにたちの 地域活動を知る」	菱沼 勇介 (NPO法人地域自 給くにたち)

ところ 公民館 3階講座室

定員 30名(先着順)

申込先 7月10日(火)朝9時～

公民館 ☎ (572) 5141



公民館ロビー“涼み処”に
お立ち寄りください

国立市では、今年の夏の節電対策の一環として、電力のピーク時となる日中の家庭の消費電力を抑えるため、また熱中症の対策として、公民館をはじめ市内各施設のロビーなどを活用した“市民涼みの広場”を開設します。

公民館の市民交流ロビーは、日ごろから気軽に一人でも立ち寄れるフリースペースやコミュニケーションスペースとして開放しています。また、公民館の冷房は電気を大きく消費しないガス空調機器なので、安心してご利用いただけます。ぜひお立ち寄りください。

裏口側でひょうたん(写真)、正面でアサガオなどを栽培中!



緑のカーテン

〈シネボックス 公民館映画会〉

『時をかける少女』

角川ヘラルド映画 2006年 カラーアニメ98分

監督 細田守 原作 筒井康隆 脚本 奥寺佐渡子
声の出演 仲里依紗、石田卓也、板倉光隆、原沙知絵、
谷村美月、垣内彩未、関戸優希ほか

東京の下町にある高校に通う女子高生・紺野真琴は、ある日踏切事故にあったのをきっかけに、時間を過去に遡ってやり直せる能力に目覚めてしまう…。

筒井康隆の名作『時をかける少女』を原作としながらも、俊英・細田守監督は原作の物語の映画化ではなく、原作から約20年後を舞台に次世代の少年少女が繰り広げる続編的な青春物語としてすがすがしいタッチで描き、ロングランヒットを記録。数々の映画賞に輝いた。



とき 7月22日(日) 昼2時～

ところ 公民館 地下ホール

定員 85名(当日先着順)

*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

第57回くにたち市民文化祭

◎総合美術展のお知らせ

実行委員会企画「市民総合美術展」を以下の日程で開催します。本年度の会場は公民館1か所になります。

◆期間 12月4日(火)～9日(日)

※この期間に休館日はありません。

募集要項は8月1日以降、次の施設に置いてあります。皆様のご応募をお待ちしています!

【募集要項配布場所】

公民館、中央図書館、郷土文化館、芸小ホール、福祉会館、北・南市民プラザ

◎第42回 国立市書道展への書作品公募 (国立市書道連盟)

10月13日(土)・14日(日)の2日間、福祉会館にて書道展を開催します。一般入賞作品は、市内の商店などに無償貸出します。

申込・問合せ先 事務局 松岡 ☎ (572) 1693

受付時間 朝10時～12時

申込締切 9月8日(土)

*詳細は申込み時に。公募規定は事務局まで。

ひろば

(6ページにもあります)



静寂の学園 ―一橋大学西校舎―
撮影 加藤 興一さん(東)

絵をかく水曜会・会員募集

油・水彩その他なんでもOK。個性尊重の指導を受けながら楽しく描いています。公募展出品の指導も受けられます。月2千円。見学大歓迎。

日時 毎月第二・四水曜日午前中
場所 芸小ホール 地下アトリエ
連絡先 田所(572) 7093

くくにたち写遊会 会員募集

一緒に写真を撮り楽しみませんか。初心者から経験者まで歓迎。毎月第二、四水曜日に撮影会。カメラの機種は問いません。講師指導あり。年齢性別不問。会費月千500円。日時 第一、三水曜日 昼1時〜
場所 公民館
連絡先 末永(577) 3440

社交ダンスを楽しみませんか

20名の仲間と2人の先生に指導を受け、レッスンを楽しくいただきます。会費月2千500円。経験者歓迎。初心者も可。毎年姉妹サークルとの合同パーティーもあり。
日時 毎週火曜日 昼1時〜3時
場所 公民館 地下ホール(予定)
連絡先 中島(572) 7898

水泳同好会会員募集

お水が恋しい季節です。涼しいプールで楽しい仲間と泳ぎませんか。レベル別に公認コーチが親切に指導します。初心者歓迎。男女不問。体験にどうぞ。
日時 毎週火曜日 夜7時〜9時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 石橋(577) 2621

国立スイミングクラブ会員募集

一緒に水泳を楽しみませんか。各種水泳大会に出場したり、海や湖での遠泳も試みます。25m以上泳げる人を想定しています。体験入会にいらしてください。
日時 毎週火曜日 夜8時〜9時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 土山(575) 3200

水泳クラブ「紫水会」会員募集

家庭のクレーン節電と健康増進の一石二鳥をめざして楽しく泳ぎませんか。公認コーチが泳力別に丁寧な指導。老若男女、仲間はたくさんいます。まず体験にどうぞ。
日時 毎週火曜日 昼2時〜4時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 荒木(575) 6467

〈社会体育事業〉 小学生の水のサバイバル教室 (着衣泳教室) 参加者募集!

もうすぐ夏休み。水遊びは楽しいけれど…もしもの時どうする? 服を着たまま水に入ったらどうなるかな? さあ、楽しく体験しましょう。もちろん、泳ぎの苦手な子も大丈夫。その後は、プールで水遊びも待っているよ。みんな集まれ!

〈場所と日時〉
・第一小学校プール…8月6日(月)朝9時半〜11時半
・第三小学校プール…8月3日(金)朝9時半〜11時半
・第四小学校プール…8月6日(月)昼1時半〜3時半
※申込み時にどちらの学校へ参加希望かお知らせください。

指導員 国立市スポーツ推進委員 堀 政代(ほか助手数名)
対象 小学1年生〜6年生(市内在学・在住)

必要なもの
水着、水泳帽子、バスタオル、飲料水、ふだん着ているトレーナーやパーカー(長袖)、長ズボン(半ズボン不可)、空のペットボトル(2リットル1本。中を洗ってください)、スーパーで使うビニール袋(穴のあいていないもの)
※ペットボトル、ビニール袋はうきわとして使います。
※服を着たまま水に入ります。色落ちしないものを持ってください。衛生管理の面で、服は洗濯してあるものをお持ちください。

申込方法 7月9日(月)より電話にて受付(正午〜昼1時と土日は除く)
申込・問合せ先 生涯学習課 社会教育・体育担当
☎(576) 2107(直通)

「マザーグース」へのお誘い

懐かしい思い出の曲から新しいオリジナル作品まで、日本語の曲を中心に歌い続けている女声コーラスです。一緒に歌いませんか。見学大歓迎です。
日時 月3回木曜日朝10時〜12時
場所 公民館地下ホール(予定)
連絡先 金子(576) 9524

親子リトミックメンバー募集

一歳半〜三歳児とお母さん。リトミックは才能を引き出し伸ばします。親子で心と身体を解放しませんか。笑顔と共に、生活がリズムに変わるはずですよ。KR P
日時 月曜日 昼2時〜 月3回
場所 南区公会堂フレスポホール
連絡先 榎本(539) 9530

公民館運営審議会報告

6月12日(火) 第28期第20回定例会を開催。委員11名、館長、職員4名、傍聴2名。
前回の議事録確認
主催事業について
館長から平成23年度主催事業の当初予定と実績、平成24年度予定事業の説明あり。委員から時代に合わせた事業を展開することは良いとの意見あり。

報告事項

○公民館だより編集研究委員会
しようがいしや青年教室、喫茶わいがやの記事が好評との感想あり。
○社会教育委員の会
5月定例会が開催され、答申に向けて活発な議論が行われ、次

回から詳細を詰めるとの報告あり。

○東京都公民館連絡協議会
今年の研究大会は12月9日に東村山市にて開催。テーマは「公民館は地域の絆」。基調講演は辻浩さん。
○委員部会の全体会と第一回研修会を7月15日に国立市公民館で開催。

その他

○次期公運審委員選定の今後の日程について説明あり。
・委員長より3月国立市議会定例会での教育長答弁の報告と、今後の公民館職員の方についての建議内容への提案あり。
次回は7月10日(火)午後7時15分から。傍聴歓迎。(松本)

ひろば

(5ページにもあります)

異文化コミュニケーション

「WING」7月の例会は「日本の文化と諸事情」について一橋大学留学生の盧越さんにお話を聞きます。質疑応答が弾む楽しい会です。ぜひご参加ください。

日時 7月12日(木)夜7時～9時
場所 一橋大学内 国際交流会館
連絡先 若沢(576) 0474



今月の公民館 (7月、8月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 12日(木)夜 くになちブッククラブ
「金井美恵子『タマヤ』」
- 14日(土)朝 親子で遊ぼう・考えよう(出張版)
「夏本番! あそび縁日スペシャル」
- 21日(土)昼～「生ごみ分解BOXをつくろう!」
- 22日(日)昼*シネボックス 公民館映画会
「時をかける少女」細田守監督
- 24日(火)昼～くになち地域活動入門
- 26日(木)昼～「介護短歌、はじめませんか」
- 28日(土)朝 親子で遊ぼう・考えよう
「プラネタリウムで星と太陽を見よう!」
- 28日(土)昼*図書室のつどい「人間らしい生活とは何か?一暇と退屈の倫理学」
- 28日(土)夕 男性の料理教室「酒のおつまみ」
- 29日(日)昼 市民による市民のためのメディア研究
「くになち市民メディア構想会議」
- 8月11日(土)昼*平和講座「被爆体験を聞くつどい」

国立うたOH!会

うたごえ喫茶ともしびの司会をされていた深代利定さん(通称ハクさん)と一緒にみんなで楽しく歌いましょう。アコ伴奏でリクエスト曲を歌います。参加費800円。
日時 7月10日(火)夜6時25分～
場所 さんせいホール
連絡先 小田090(3045) 2806

第170回くいしんぼクラブ

ヘルシーなベトナムの家庭料理を教えていただきます。材料費800円。ゴミ袋とふきんをご持参ください。
日時 7月21日(土)昼1時～
場所 福祉会館 3階料理講習室
連絡先 八宮(571) 1007

ジュニア短期水泳教室募集

24年度ジュニア育成地域推進事業。小学1年～中学生対象。初級からレベル別に公認指導員が指導します。参加費無料。先着70名。締切7月18日。国立市水泳連盟
日時 7月23～30日 夕4～6時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 堀(575) 8381(夜)

ジュニアソフトテニス講習会

プロコーチによる初心者から上級者までレベルに応じた指導あり。ソフトテニス連盟。小学校高学年および中高生対象。参加費無料。申込締切7月31日。
日時 8月19日(日)9時予備25日(土)
場所 広場テニスコート
連絡先 平野(576) 7815 FAX共

言葉のオイリュトミー練習

毎週、天使館オイリュトミー・シュレ修了の講師をお招きして初心者向けに言葉のオイリュトミーを練習しています。参加費等詳細は連絡先まで。主催 野はら
日時 毎週金曜日夜7時半～9時
場所 公民館 地下音楽室(予定)
連絡先 桑原090(651) 8452

講演会・公民館を考える

公民館はどうあるべきか、公民館運営審議会の役割は何か―長澤成次さん(千葉大学教育学部教授)にお話ししてもらいます。主催 国立市公民館を守る会
日時 7月25日(水)夜7時～9時
場所 公民館 3階講座室
連絡先 杉原(577) 0124

〈サークル訪問250〉

「金曜史話会」

「金曜史話会」は26年前、公民館主催の「昭和史講座」第一期の後、自主サークルとして発足した(男女16名)。

激動の昭和(戦中・戦後)をいろいろな形でぐり抜けてきた会員たちは、多摩の戦後を踏まえながら自分の歩んできた昭和の歴史の真実と疑問に答えを求めた。講座に参加しながら、史話会でも史実をこつこつと確かめていった。

「当番になる卓話者(報告者)は大変でしたが、月一回の集まりには熱が入り、皆わくわくしていました」と会員の方は言う。

講座は参加者の熱い要望と、あまりに大きな内容を含んでいたために、困難もあつたが、第一四期



「後に続く人が出てくれるとうれしい」と話すお二人

まで続けられた。会員も真実を知り、語りたいと願ったそうである。

金曜史話会の学習内容は多摩の「昭和史」からアジアや世界へと大きな広がりをもせ、社会、文化教育、暮らしなども語り合った。また、史実の真意を追求しつつも一人ひとりの思いは一つにならないことも多く、侃々諤々^{かんかたごうごう}と、なぜ違うのかを確かめたのも楽しい思い出である。

今年3月には「原発」を取り上げるところまで来たが、会員の高齢化が会の継続にストップをかける。私が訪問した時の参加者は、代表の高塩武治さんと宮本利江さんのお二人だけだった。

「残念だけど金曜史話会は今日で終わります。まだまだ続けたかったんですが、今はダンボール一杯の資料をどうしよう、と悩んでいます」。お二人はまた、「史話会を通していろいろな真実を胸に刻み支え、この場で学べたことが本当にうれしい」と感慨深げだった。

会員の手記も多く載る『その時私は……戦中・戦後』(公民館講座参加者手記、公民館図書室所蔵)は貴重な歴史の声だと思ふ。

連絡先 高塩(573) 3948

〈文・写真 梶原直子〉